

第4回経済トップセミナー

サステナブルな地球と会社—温暖化防止と働き方改革—

令和3年12月9日14時より、J・COMホルトホール大分の大ホールにおいて、第4回経済トップセミナーを開催し、四極会員の他、一般市民、学生など327名の方が聴講されました。

講師は九州電力株式会社代表取締役 社長執行役員 池辺和弘氏。

池辺社長は日田郡上津江村（現日田市）のご出身で、母校川原小学校のことで、大分市の大東中学を経て進学した舞鶴高校で出会った多くの友人のことなど大分県とのつながりを話されました。

学生に向けたメッセージとして、小学校以来学んだことを基に、自分で考え、何が正しいかを判断しなさいと語られました。



SDGs

Sustainable Development Goals

国連が掲げるSDGs“持続可能な開発目標”の中に「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」「気候変動に具体的な対策を」という項目があります。

化石燃料を燃やしてエネルギーを作ると発生する二酸化炭素は、大気中に止まって地球温暖化をもたらし、海水面を上昇させます。

日本で排出する二酸化炭素の4割は発電所等のエネルギー転換部門が占めており、電力会社では太陽光、風力、地熱といった再生可能エネルギーや原子力等、二酸化炭素を発生しない発電、電源の脱炭素化に力を入れています。

家庭でも一人ひとりがライフスタイルを変えていかなければなりません。エネルギーを効率的に利用するために、EV化、オール電化、住宅の断熱と



いった方向が求められます。

地震は避けられないけれども、地球温暖化は人間の力で回避できる。しかしそのためには相当な覚悟と努力が求められます。お話の中では、数字と物理法則を無視した政策は誤るとの、カリフォルニア大学教授リチャード・ミュラーの言葉も紹介されました。

働き方改革

少子化の進行で、働く世代は否応なく親の介護に直面します。場合によっては4人の親のお世話を迫られるかもしれない。そのような状況でも対応できるフレキシブルな働き方環境が必要です。

社長就任以来、毎週続けておられる、関連会社を含めた社員向けのユーチューブ「KAZ サイト」は、社員がイキイキと働けるように池辺社長が明るく語りかけて140回を超えたとのことでした。

最終回、第5回経済トップセミナーは、令和4年2月17日（木）に九州旅客鉄道株式会社代表取締役社長執行役員 青柳俊彦氏をお迎えして、J:COM ホルトホール大分で開催します。引き続き、皆様のご参加をお願いいたします。